



氣田 量子
(自民公明クラブ)

5歳児健康診査への市の対応は

令和7年度以降の実施に向け検討

問 5歳児健康診査は発達障害などを早期に見出し、安心の就学につながると考える。国も令和6年から費用の助成を開始したが市の対応は。

答 新たな5歳児健康診査は、月1回程度の集団健康診査による実施が想定されますが、身体診察が追加となることから、医師等の確保が課題となっており、県内他市の全てで、令和6年度での実施予定がありません。市では、医師等の確保などの課題を整理し、令和7年度以降の実施に向けて検討していきたいと考えています。

問 国が創設を目指すこども誰でも通園制度は、保護者の就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度であるが、実施を見据えた市の考えは。

答 現在国が先行自治体による試行的事業を実施しており、令和8年度から全自治体で実施することとしています。このことから、市では、試行的事業の検証結果等を踏まえ、受入れ側である事業者と実施方法等について調整を行いながら、令和8年度の本格実施に向けて、提供体制の整備を進めていきたいと考えています。

問 投票率低迷の改善策として、投票しやすい環境づくりが必要と考える。選挙支援カードを導入する考えは。

答 選挙支援カードは、投票所での支援を必要とする方が、あらかじめ自宅等で支援してほしい内容を記入することで、投票所における必要な支援をスムーズに受けることにつながるため、導入していきたいと考えています。

問 マイナンバーカードを使った不在者投票の投票用紙のオンライン請求を導入する考えは。

答 有権者の利便性の向上につながるため、次回の選挙から導入していきたいと考えています。



斉藤 重美
(自民公明クラブ)

脱炭素化に向けた今後の取組は

市全域の基本計画を策定予定

問 脱炭素化に向けた市の取組は。

答 市の事務事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組むための「とわだエコ・オフィスプラン」を策定し、令和8年度において令和3年度比で5%削減する目標を掲げ、庁舎等へのLED照明と太陽光発電の導入等に取り組むこととしているほか、職員の環境保全意識の向上を図るため、不必要な照明やOA機器の電源を切る等、市役所内での取組を実践しています。

問 今後の取組は。

答 令和6年度に市全域の温室効果ガス排出抑制等の施策の基本となる計画を策定予定です。

問 カラスの苦情をよく聞くが、対策は。

答 三本木霊園内に設置した捕獲おりでカラスの捕獲、駆除をしているほか、カラス撃退グッズを貸出しています。今後は県で実施しているカラス行動域調査の結果を3月以降に得られる予定であるため、調査結果を参考にし、有効な対策を検討したいと考えています。

問 除雪の出動基準は。

答 降雪量が10センチ以上となることが予想される場合、降雪量が10センチに満たないが、放置しておくと凍結等で交通に支障があると予想される場合、強風で路面に吹きだまりが発生し、交通に支障があると予想される場合などに出動の指示をしています。

問 市民からはどのような意見が寄せられているのか。

答 気象条件等により異なりますが、雪の降り始めが早朝の場合は除雪が来ない、湿った雪が降った場合には寄せ雪を何とかしてほしいといった意見が多く寄せられています。